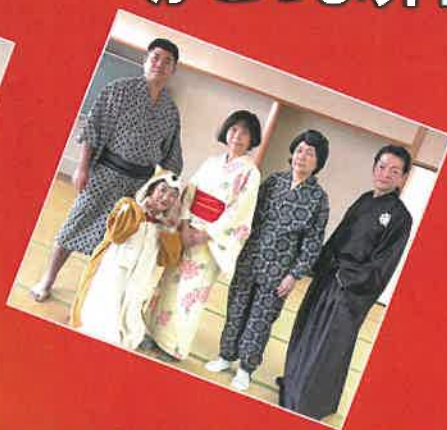


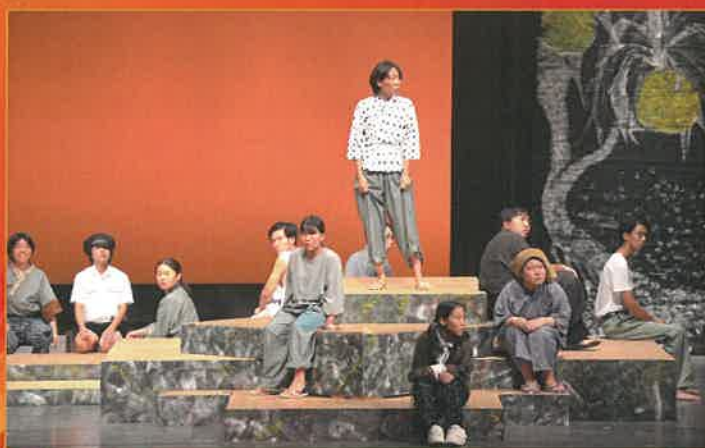
方言週間自主公演

かごつま弁で 笑るやったもんせ
笑う門には福が来もんど

第一部 NPO法人残していきたい かごつま弁協会



第二部 高校生による演劇 伊集院高校演劇部



2025
11月24日(月・祝)

日置市伊集院文化会館

日置市伊集院町郡一丁目100番地
電話 099-273-2111

主催 NPO法人残していきたいかごつま弁協会
共演 鹿児島県立伊集院高校演劇部
後援 日置市・日置市教育委員会・南日本新聞社
NHK鹿児島放送局・MBC南日本放送・KTS鹿児島テレビ
KYT鹿児島読売テレビ・KKB鹿児島放送

開場 13時00分
開演 13時20分
終演 16時00分

入場料 500円
前売当日券 共通
高校生以下 無料

申込・問合せ 池上優子 090-5038-5017 (主催法人)



理事長
池上優子

私は、昔からある良い物は、残していかないといけないう気持ち強く、ばっばん達の作る料理そして、時節折々の行事なども若い人へ伝えて残していきたいものです。でも、料理・行事などは書物で残していればどうにかありますが、かごつま弁はそうはいきません。方言は、半分はイントネーションです。なくなりつつあるかごつま弁を「いけんかせんといかん」と思っはじめたのが、NPO法人残していきたいかごつま弁協会でした。微力ではありますが、12年間仲間と共に楽しく頑張っています。

NPO法人

残していきたいかごつま弁協会

当法人は、普段かごしま弁を話す人に限らず、地元の若い世代や鹿児島を訪れる観光客など、かごしま弁に興味・関心を持つ人々に対して広くかごしま弁の振興事業活動を行い、郷土文化の宝であると同時に重要な観光資源であるかごしま弁の普及・活用・継承に寄与することを目的として活動しています。今日は伊集院高校演劇部の若い力をお借りして、自主公演ができる事がとても楽しみです。残していきたいかごつま弁協会も一歩前進です。感謝感謝です。

ごあいさつ



顧問
上田美和

県立伊集院高校演劇部顧問。国語科教諭。令和元年 屋久島高『ジョン・デンバーへの手紙』

令和6年 伊集院高『仕事のお父ちゃん』の2作品で高校演劇の全国大会に出場し、いずれも創作脚本賞を受賞する。

令和7年の今年は、奄美の本土復帰運動をテーマにした伊集院高『朝は明けたり』で全国大会優良賞、自身は3度目の創作脚本賞を受賞した。部活以外の一般の皆様との舞台作りは経験が浅いため、今回の合同企画がとても楽しみです！

伊集院高校演劇部

伊集院高校演劇部は、今年、奄美の本土復帰を描いた作品「朝は明けたり」で、九州ブロック代表として、香川県で行われた全国大会に出場しました。

現在部員は26名。観客の皆様にはドラマを届けるために、日々の発声練習や演技の練習に取り組んでいます。

今からお届けしますのは、私たちが今年のコンクールで取り組んだ作品です。テーマをうまく伝えられるよう、部員一同、精一杯頑張ります！皆様、どうぞ最後までご覧ください。

プログラム

第一部

- 1 13:20 あいさつ
- 2 13:25 お田植えおどり
- 3 13:40 あつ姫の温泉旅行
- 4 13:55 おむすびころりん(紙芝居・子供劇)
- 5 14:10 てんがらもんストアーあれから3年「新作」

休憩

第二部

- 1 14:50 顧問 あいさつ
- 2 14:55 伊集院高校演劇部
- 3 15:55 みんなであいさつ
- 4 16:00 閉会

わっぜえ
楽しんじゃなー

まこちな～

てのんで
行っもんそ

そげんしもんそ

